

# かわむらこどもクリニック NEWS

Volume 4 No 1

30号

平成8年 1月 1日

## 謹賀新年



今年もよろしく、  
お願い致します。

### 新しい年に向けて

院長

皆さん、昨年とはどんな一年だったでしょうか。阪神大震災の大きな被害、オウム心理事件等、大きな事件が幾つもありました。経済面では、やっと景気の回復の兆しが見えてきたようです。

健康の方は、いかがだったでしょうか。あまり病気にならなかった子もいれば、長く咳や熱が続いたり、初めてのひきつけで、おあわてしたお母さんたちもいたことでしょう。嘔吐下痢症で何日も連続で、点滴に通った子もいたはずですが、この冬は、昨年と違い、インフルエンザも少なく、比較的落ち着いたようです。

待ち時間と診療内容は、いつも反比例します。患者さんの少ない時期には、お母さんたちと十分コミュニケーションを

### 1月のお知らせ

#### 栄養・育児相談

毎週水曜日 13:30~

栄養士担当、参加無料

#### テレビ放映

1月27日(土) 13:00~13:30

「すこやかさんこんにちわ」で「ぶつぶつのでる病気」を院長が話します。興味のある方はご覧ください



とろうと努力していました。もちろん今もその気持は変わりません。日によって、混雑の具合が変わります。時間によっても変わってきます。11時までの患者数と、11時からの患者数が同じということも何度かありました。当然11時以後の待ち時間は長くなってしまいます。午前中の患者数とすれば多くないのですが、一定の時間に集まってしまい、混雑してしまいます。これを解決するためには、予約制しかないようです。それまでは来院前に電話を頂ければ、よいかも知れません。混雑緩和の努力は続けています。小生やスタッフ一同、人知れず焦りながら、頑張っているつもりです。ご協力をお願いします。

いつの間にか、当院も2月20日で、三年を迎えます。新年の新聞には、「漫然と同じことの繰り返しでは、進歩がありません。」と書きました。昨年の新しいこととして、お母さんの勉強会を12月から始めることが出来ました。今回はテーマとして喘息を取り上げたのですが、参加申込が30人以上となり、2回に分けざるを得ませんでした。今後もテーマを変えて勉強会を続けていきたいと思っています。今後とも、毎年一つづつ、新しいことに挑戦していきたいと思っています。さて今年は何が出来るか、今考えているところです。お母さんたちも、子どもたちの健康のため、何か一つ新しいことに挑戦することもよいかもしれません。

### 新しい看護婦さんが入りました

先月後半から、新しい看護婦が増えました。従来のスタッフ共々、よろしくお願い致します。

当院のスタッフのなかで、最年長のお母さん看護婦です。病気のことから世間話まで、何でも気軽にお話ください。でも何事にも未熟な私ですので、私でわからないことは、先生やスタッフの方に、聞き伝えられるようにパイプ役になり、皆さんのお役に立ちたいと思います。そして、いつも笑いに種となるほどおっちょこちょいの私なので、皆さんに教わり助けていただくことも多いと思います。ご迷惑をおかけすることのないよう、気を引き締めていますので、よろしくお願い致します。

根津 美代子



### スタッフから一言

あけまして おめでとう  
ございます。  
今年ももっと自分に、磨きをかけてかわいい女、いやいい女?! 目指してがんばっていきたく思います。よろしくお祈りします。  
かとう

あけまして おめでとう  
ございます。  
母子手帳に書く字は、一生残ってしまう。今年こそは、ペン習字をならって、きれいな字に生まれ変わるぞ!!  
中米 由美子

あけまして おめでとう ございます。  
病院に来られる皆さんに、気軽に話していただけるよう、いろいろなことを勉強し、自分にみがきをかけたいと思います。  
根津

あけまして おめでとう ございます。  
去年は、やせると言いつつ、見てのとうりだめだったので、今年も再度  
Let's try .....涙涙。  
矢作美記

### 読者の広場

今回も、いろいろな投書を頂き有難うございました。また、喘息のお母さんの勉強会は、申込者が30人を越えたため12月と1月の2回に分けて行います。15人以上になると、狭くなってしまっているので、現在場所を探しています。決まり次第、申込の方には連絡を申し上げます。他に聞きたい話があれば、リクエストにお答えします。先月号の予約診療に対する意見が幾つかありますが、次号にでもまとめて掲載したいとおもいます。今回は、ファックスで頂いた投書と、これまたお父さんのINTERNETのメールでの投書を載せてみたいとおもいます。スタッフの名札というのがあり、現在準備中です。

今日は、とてもご丁寧な診察有難うございました。いつも妻からは、先生やナースさん達の心のこもった対応を聞いていたのですが、自分が、子供を2人連れて行き(妻が、友達の結婚式でいかなかった為)、そのことが実感として伝わりました。

私は、小さいころアトピーで、ましては小児喘息を煩っていた為、自分の子供達に遺伝しなければと思っていましたが、案の定長男はアトピーで生まれました。いろいろ病院を変えたり本を読んだりしましたが、先生の病院に通い始めて、本当に良かったと思います。なにより納得のいくような説明と不安に対するご返事が、子供の病気に対しての不安を大きく安らげてくれるからです。今後は、妻が家にいても、私が病院へ連れていき、2~3ヶ月に一度は、先生とお話しをしたいと思っています。話は全く変わりますが、女性の育児というものは、とても大変ですね。今日たった18時間だけ、子供2人と私1人で過ごしましたが、この状態を365日続けている母親は、言葉でいえないほどストレスがたまると思いました。

明日からは、もっとママに協力したいと思っています。  
将広と菜月の父親より

いつも投書を頂き有難うございます。

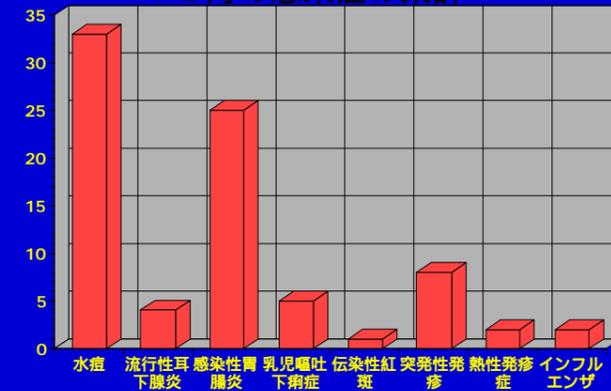
きのうち@NTTと申します。  
あまり外部の方にメールを出した事が無い為、失礼がありましたらお許し下さい。

いつも娘(朋美,南美)二人がお世話になっております。  
お忙しい中、睡眠時間を削いでの暖かい診察には、いつも感謝しております。妻も娘も、かわむらこどもクリニックが大好き(?)で、事実夕食の時など貴院の話題は日常茶飯事(親とすれば、あまり病院の話は出ない方がいいのですが(^\_^;)で、とにかく「近くて良かった」という感じです。また超多忙にもかかわらず、新たに勉強会を開催されたり、一人一人丁寧に説明し診察されている話を聞き、先生の熱意と誠実さに嬉しく思う一方、以前倒れたとの話も聞いており、お体の方が心配されます。くれぐれもお体を大切にされ、来年もまた、娘二人を宜しくお願い致します。

PS.妻が「あんなに忙しいと、息抜きする暇がないんじゃないの?」と心配しておりました。よろしければ、余暇の時間の過ごし方など教えて頂ければ、私の方から妻に伝えたいと思いますので、宜しくお願い致します。

NTT東北通信ソフトウェアセンタ第1プロジェクト  
木内 政人 Tel:022-783-4433 fax:022-783-4447  
E-mail:k1673366@yamabiko.tohoku.tsh.cae.ntt.jp

### 12月の感染症の集計



インフルエンザを思わせるのはあまりありません。むしろ水痘(みずぼうそう)が、目立ちます。ぶつぶつが出ていたら、必ず受付に申してください。院内での感染は、出きるだけ避けたいものです。嘔吐下痢症が多かったのですが、今はかなり減少しています。インフルエンザも、南では流行しています、注意しましょう。

### 編集後記

正月早々、微熱のせいで、発行が遅れてしまいました。今回は、字数が多く読みにくいかと思います。しかし小生と同じ男性からの投書があり、是非読んでもらいたかったのです。



目次に戻る

前の号

次の号